





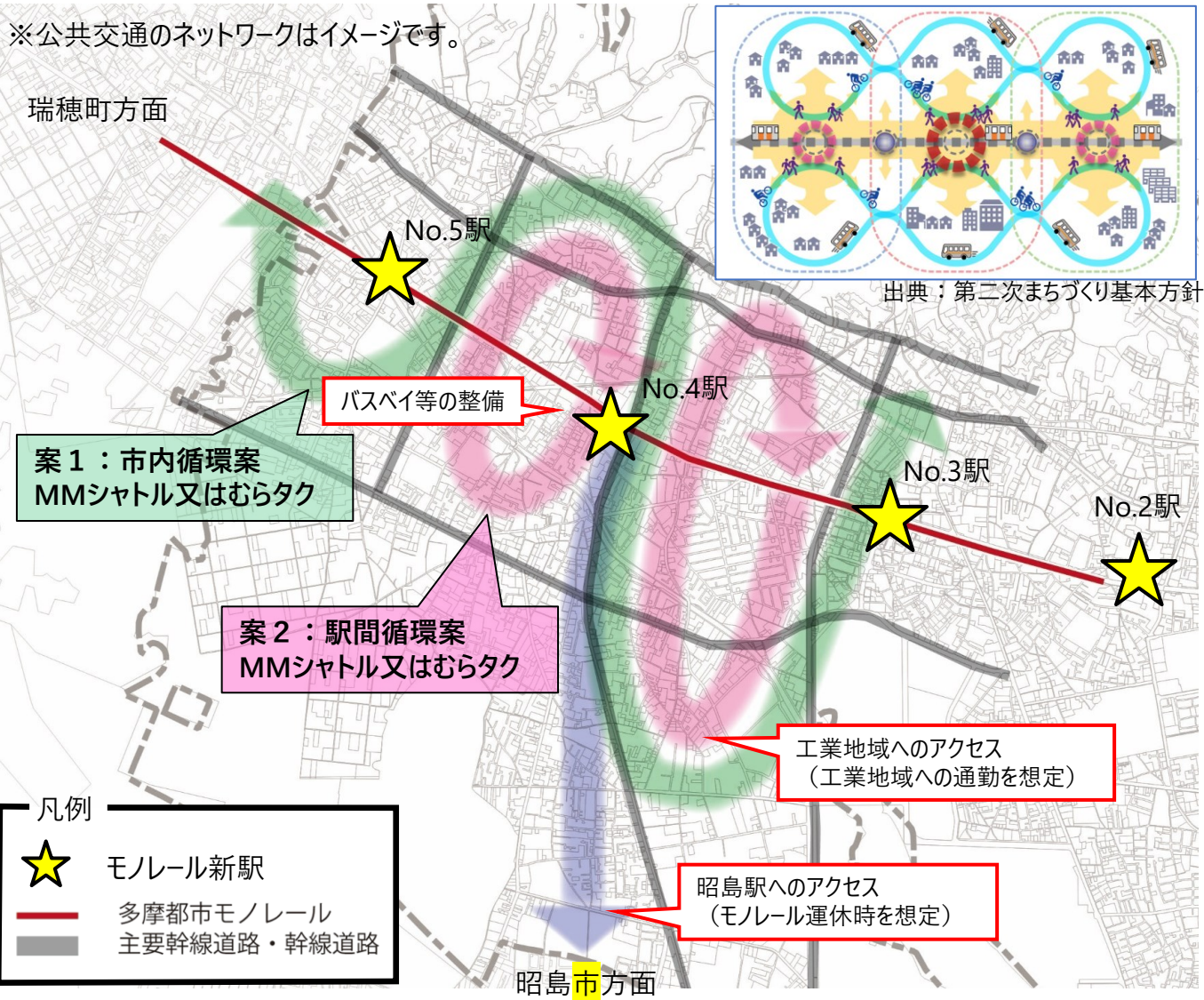
● 交通

➤ No.4駅の交通結節機能を充実させるとともに、駅を中心に多様な交通手段を組み合わせることで、誰もが移動しやすい交通環境の形成を図る。

視点		取組
(1) 駅から周辺地域、周辺地域から駅へのアクセス向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通ネットワークと交通拠点の再編によるアクセスの向上</li><li>・多様なモビリティの導入による移動しやすい環境の整備</li><li>・公共交通の維持を図るため、公共交通を利用しやすい環境を整備するとともに、利用を促進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・MMシャトルの運行ルート等の見直し</li><li>・むらタクの活用促進</li><li>・次世代モビリティ等の導入による移動手段の多様化</li><li>・バスベイ等の交通施設の整備</li><li>・デジタル技術の活用による利用しやすい環境づくり</li></ul>
(2) 歩行者・自転車ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・歩行者及び自転車利用者が安全に通行できる環境を整備し、桜並木をはじめとした地域資源や駅前の拠点施設等への回遊性を向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・都市計画道路や野山北公園自転車道等の整備</li><li>・自転車駐車場の整備</li><li>・シェアサイクルの拡充</li></ul>

【方針図】広域のイメージ（主に公共交通のネットワーク）

- MMシャトル等の運行ルートの見直しなどにより、周辺地域からNo.4駅へのアクセスを向上する。
- 見直しに当たっては昭島方面や工業地域へのアクセスを確保する。



【方針図】狭域のイメージ（主に歩行者、自転車のネットワーク）

- 駐輪場の整備やシェアサイクルの拡充等により自転車による回遊性を高める。
- 歩行者・自転車が快適に通行できるよう野山北公園自転車道を再整備する。
- 移動手段の多様化を進め、交通利便性の向上を図る。

